



愛と復興

議会だより

只見

9月会議審議	2
決算特別委員会	4
8月会議クローズアップ	8
委員会レポート	10
研修レポート	10
議会活動報告	12
請願・陳情	13
NEW 教えて! 議会のこと	14
一般質問 (10人の議員が登壇)	15
NEW 若者たちの目線	26

発行：福島県南会津郡只見町議会
編集：只見町議会広報特別委員会
〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30
TEL.0241-82-5300 FAX.0241-82-5222
E-mail:gikai@town.tadami.lg.jp

やったね!
山村留学生チーム

只見高等学校
山村留学生

留学生

只見地区町民運動会で優勝した只見高校山村教育留学生チーム(9月21日)

支援へ 予算追加

9月会議は16日から26日までの11日間の会期で開催しました。一般質問は2日間にわたり10人の議員が行政全般について質問、政策提言を行い、平成26年度一般会計補正予算は一部を修正し採択。また、平成25年度決算特別委員会が開催され、一部意見を付して認定しました。

塩ノ岐林道工事が 一歩前進

—— 工事請負契約を締結

新潟・福島豪雨災害発 生後、遅れている林道災害復旧工事が一歩前進した。

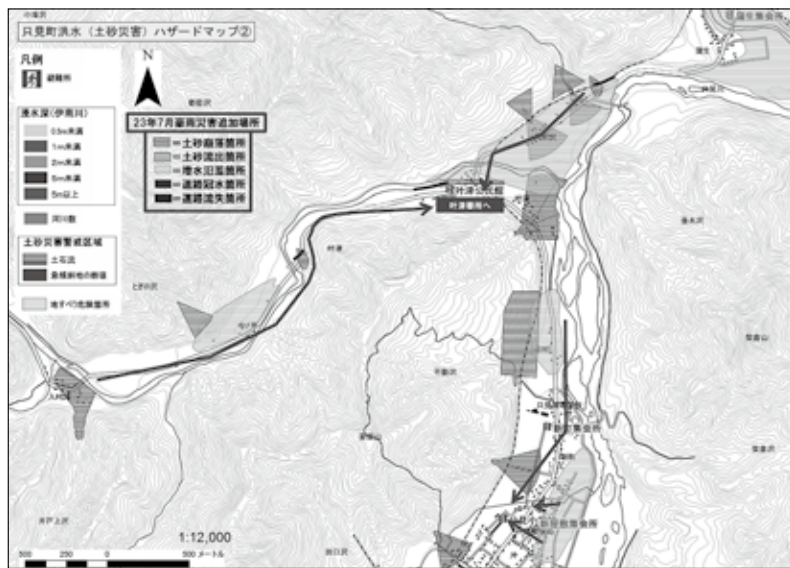


復旧が待たれる林道

より実質 的な防災 計画へ

只見町地域防災 計画を変更

3年前の東日本大震災及び新潟・福島豪雨災害により、より使える防災計画の必要性と、ハザードマップの根本的な見直しが必要と判断。災害時の町職員の初動マニュアルや行動指針を作成し、迅速で的確な判断と行動を職員がとれるよう防災計画を改訂しました。ハザードマップも、集落への聞き取り調査を充分に行い、危険箇所の修



見直された只見町洪水(土砂災害)ハザードマップ

空き家条例 審議委員の報酬額決定

正を行いました。より住民の安全が迅速かつ的確に守られることが期待されます。

本年8月より施行された「空き家条例」の審議会審議委員の報酬及び費用弁償を決める条例で、審議会委員報酬、日額5700円とするものです。



① 国会議員団来町 7月1日、赤字ローカル線を支援する国会議員団がJR只見線の災害現場を視察に来町され、町、議会、大勢の町民が只見駅で出迎えました。わずかの時間でしたが、JR只見線を受する会の目黒会長が代表で思いを訴え、国の支援を求めました。力強い応援団です。

9月会議

さらなる復興



追加予算が決まった
プレミアム商品券

一般会計予算

9月補正額..... **1億5,898.8万円**
 補正後の予算総額..... **56億3,815.2万円**

主な補正予算による事業

中小企業豪雨災害復旧復興支援予算..... **5,900万円**
 プレミアム商品券発行追加予算..... **645万円**
 青年交流ツアー委託予算(新規)..... **104万円**

9月補正予算審議

商工業者支援

問 豪雨災害で被害を受けた商工業者からは、税金の負担は重いが災害への支援が少し薄いとい

答 豪雨災害で被害を受けた商工業者からは、支援の制度をつくっている。今回新たに内容を見直し提案している。

問 う声があるが、税負担に関わらず、公正・公平な観点から

青年交流ツアー

問 青年交流ツアーの目的や事業内容は？

答 他地域との青年交流を通じて町の課題を話しあったり、地域づくりに関わる青年たちの郷土愛を育むのが目的。今、青年のみんなが自主的に内容を検討している最中。

林業人員体制

問 林業総務費に計上された超過勤務手当について。現在の人員体制は何か。新たな業務が発生したのか、または当初予算の見積り過少か？

答 管理職を除き農政係4名、林政係4名で新年度より1名増となった。只見振興センターの木造化、湯ら里のバイオマスポイラー設置関係の業務が新たに加わった。当初予算要求時は、新年度の組織見直しの前であった。

修正動議

災害仮設住宅 旅行村への移設計画白紙へ

豪雨災害で使用した災害仮設住宅の利活用について、青少年旅行村に移設し、観光宿泊施設として活用するための設計予算など、570万円の補正予算が9月会議に提案されました。

① 移設工事総額約1億円

② 集客施設としての有効性の費用対効果

③ 運営時の収支見通し等が挙げられました。

また、もう少し審議を尽くすべきとの判断から、その予算に対し修正動議が提出され、全員の賛成で可決しました。



只見地区の仮設住宅



② **快挙！県大会出場** 7月6日、消防操法競技大会が南会津町で開催され、只見町消防団員のきびきびした動作に目を見張りました。日頃の訓練の賜物ですね。結果は、自動車ポンプ操法優勝の快挙。小型ポンプ操法でも2位となり、自動車ポンプ操法は県大会出場となりました。消防団員の皆さんご苦労様でした。

どのような成果があったか？

総額 92億円を子エツク

決算特別委員会を設置

質疑 応答

各課の事業を細かく審査するため、決算特別委員会を設置し、内容を検証しました。

多額な不用額

問 多額な不用額、減額補正が出ているが、当初予算の際、きちんとした見積りが行われているか。

答 不用額については豪雨災害の林道工事等の入札不調などによるものが多く、今年度執行しているものもあるのですが、減額補正については、ご指摘の通り当初予算の際、見積りが甘かったものもある。今後はしっかりとやっていきたい。

財政調整基金

問 現在、財政調整基金の残高は11億円を超えている。町民生活のための事業にもっと活かしていくべきだ。

答 今までの実績も理解願いたい。その他の基金の活用も含めて、今後の事業財源として検討していく。

新しいホームページ

問 380万円もかけて作った町の新しいホームページの更新頻度が低い。もっと頻繁に更新し、活用すべきでは？

答 確かに更新頻度が十分でない。役場内での課題を整理して、よりよいホームページへと改善していく。

新商品開発業務

問 「新商品開発業務」を民間会社に委託しているが、なにか成果物はできたのか？

答 25年度は都心部女性への聞き取り調査により、無添加で安心・安全を謳うお土産品で意見がまとまってきた。26年度内に、開発した新商品を提示できる予定だ。

只見特産

問 只見特産が持つ施設・設備を産品開発に有効活用し、今後の経営改革に生かせないか？

答 産品開発や産業の六次化については、これまでJA（農協）に任

木の駅構想

問 木の駅構想事業（地元産材の有効活用と町内循環の仕組みづくり）はどのように進められたか。

答 検討委員会を立ち上げ5回の審議内容を課



「自然首都・只見」推奨産品

問 町内の供給体制についての話はなくなりましたか？

答 なくなったわけではない。

せきりだったが、今後は町でも対応を検討している。

題として町内で消費できない施設を作ることが先ではないかと考え、湯ら里に木質バイオマスボイラーを導入・検討して、まず需要先を作りたい。

③ 叫ぶ！只見線復旧 7月8日、福島県町村議会議長会で決議した、東日本大震災、原発事故対策、さらにはJR只見線早期復旧特別会議を復興大臣のほか、自民党本部や東京電力に強く要望しました。

決算特別委員会

平成25年度

町の決算

予算は正しく使われたか?



ヤブに埋もれた会津朝日岳登山道の現状

トイレの清掃管理

問 町内にある公衆トイレの清掃管理の委託料に差があるのはなぜか。

答 トイレの規模の大小、使用頻度によって清掃管理に差が生じるのは当然のことだ。しかし、

委託内容、委託料の精査は必要と考える。

外来魚の駆除

問 外来魚（主にブラックバス）を駆除するための補助金を出しているが、ブラックバス釣りに利用した観光誘致に利用できないか？

答 外来魚（主にブラックバス）を駆除するための補助金を出しているが、ブラックバス釣りに利用した観光誘致に利用できないか？

答 外来種で観光誘致をするつもりはない。

有害鳥獣駆除隊

問 有害鳥獣駆除隊への活動支援の実態は？

答 経費のかかる実射訓練等の補助を行い、有害鳥獣類の捕獲を実施している。今後も町内のパトロールを行い、効果ある対策に努める。

朝日岳登山道

問 平成23年7月豪雨災害で、朝日岳の登山道が壊れ入山禁止の状態が続いているが、登山道の管理料とはなにか。

答 入山再開を見据え、再開されるまでの登山道の維持管理を森林組合に委託している。

山内代表監査委員による決算審査報告



平成25年度 各会計決算

単位：万円

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	
一般会計	680,118	654,066	26,052	
特別会計	国保事業	52,499	52,021	478
	国保施設	41,685	41,589	96
	後期高齢	12,961	12,957	4
	介護保険	58,779	58,645	134
	介護老人	24,963	24,960	3
	訪問看護	1,592	1,592	0
	地域包括	1,093	1,093	0
	簡易水道	24,709	24,704	5
	観光施設	15,400	15,400	0
	交流施設	5,016	5,016	0
	集落排水	33,582	33,582	0
	朝日財産区	1,412	257	1,155
合計	953,809	925,882	27,927	

子育て広場事業

問 今年から三地区振興センターで実施している子育て広場事業とは？

答 小学校低学年児童の放課後対策事業として、毎週2回三地区あわせて65人の児童が参加している。NPO只見コミュニティクラブの専門的資格を持った人が学習指導と運動能力の向上に活動している。

文化資源の活用

問 民具資料館の計画、日本で3番目に古い五十嵐文書の写本や黒谷遺跡の発掘調査など、これらの貴重な文化資源を今後地域活性化にどう活用するか？

答 保存が優先だが、活かしていくことも重要、今後の課題として検討していく。



子育て広場事業の様子

只見スキー場

問 只見スキー場の雪崩防止対策の見通しは？

答 27年度最優先箇所として県に強く要望している。

集落排水事業

問 集落排水事業の収入が前年比減収している。今後の高齢化の進行による利用人数の減少と維持管理経費の増など、今後の見通しは？

答 おっしゃる通りの心配は持っている。当面老朽化した施設を統合するなど、効率化を検討していく。

パソコンリース

問 小・中学校のパソコンは、リースより買い替える方がサポート面を考慮しても安上がりでは？

答 確かにパソコンは日進月歩で進化しているため、今後は購入も検討する。

無料コンポスト

問 無料コンポストの配布の仕方に問題があるのではないかと？

答 現段階では無料配布日の開始2時間ほどでなくなってしまう。今後区長とも協議をして各集落施設等で高齢者にも配慮した配付ができればと考えている。

医療連携ネットワークシステム

問 診療所と会津医療圏の病院を結び連携ネットワークシステムの導入実施後、その後の効果は？

答 協議会での動きが遅れている状況で、ネットワークが機能していない。今後の見通しを確認する。



明和小学校パソコン授業の様子



事務仕事におわれる診療所スタッフ



診療所で電子カルテを利用する医師

診療収入の減少

問 診療収入がピーク時より約5千万円減収しているが、主な原因は？

答 検査器具が古くなっており、内視鏡検査

等ができないことや入院検査、治療に関することは医師の判断で行っているため、はっきりとした原因は分からない。

決算特別委員会審査報告書

平成26年9月26日

只見町議会議長 齋藤邦夫 様

決算特別委員会委員長 佐藤孝義

決算特別委員会審査報告書

本特別委員会に付託された議案について、審査の結果を会議規則第77条の規定により下記のとおり報告します。

記

決算審査に当っては、「予算を議決した趣旨と目的に従って適正に、そして効率的に執行されたかどうか。それによってどのように行政効果が発揮できたか」を主眼に審査した。

1. 認定第1号 平成25年度只見町一般会計歳入歳出決算の認定について

審査結果 本件については、次の意見を付して原案のとおり認定すべきものと決定した。

- ①政策的な委託料の執行について、目的や実績等が不明確なものが見受けられる。事業成果や今後の課題を把握するためにも、予算の段階でしっかりとした計画を立て、行なったことの報告だけで終わらせるのではなく、その結果何を得て、それをどう今後活かしていくのかという視点での成果報告を出せるよう検討されたい。
- ②管理職による職員の労務管理が十分でないが見受けられる。各課・各人ごとの勤務状況を適切に把握するため、きちんとデータ集計し、客観的に分析されたい。超過勤務の上限目標を設定することで偏重を是正し、業務がスムーズに執り行われるよう、適切な人員配置に努められたい。
- ③設立以来活用されていない休眠基金が見受けられる。財政調整基金の積み上げも必要以上に膨らんできている。町民から集めた税金をタイムリーに町民に還元するための単年度予算制度である。基金設立時の目的に沿った計画を立案し、有効な基金の活用を図られたい。

平成26年9月26日、決算特別委員会に付託された議案について、一般会計歳入歳出決算の認定に

関しては、以下のよう
意見を付して原案のとおり可決しました。

特別会計決算の認定に
備・機器の問題が見受けられたため、執行された予算に対して相応のサー

算認定できないとの少数意見の留保がありました。所)特別会計の認定において、活用せずにいる設備・機器の問題が見受けられたため、執行された予算に対して相応のサー

建設が遅れている介護施設 2億円増額で再入札

8月会議が8月11日に開催され、除雪ドーザーの財産取得議案、一般会計補正予算、条例改正1件が提案され、原案のとおり可決しました。とくに、長浜に建設が予定されている介護施設の増額予算、マイマイガ対策、新庁舎設計予算については、全員協議会で行われた集中審議の内容を要約してお伝えします。

クローズアップ



只見ホームに新しい施設が隣接される

一般会計予算

8月補正額 **4億3,600万円**
補正後の予算総額 **54億7,900万円**

条例改正と補正予算の主な内容

❖ 町長等の給与に関する条例改正 ❖

9月1日からの3か月間、町長給与の20%減額が決定されました。

❖ 介護施設整備予算 ❖

長浜に建設予定の介護施設予算は2億円が増額され、5億7,976.6万円となりました。これは、南会津会に補助金として支出され、南会津会が建設事業を行います。

❖ 新しい役場の実施設計予算 7,845万円 ❖

基本設計が終わり、より詳細な設計を作る予算です。

❖ マイマイガ対策予算 480万円 ❖

公共施設や各集落に貸し出す高圧洗浄機などを整備する予算です。

3度の入札

長浜に新設予定の介護施設は、2度の入札不調となっていましたが、予算を増額して、再度入札がおこなわれました。



⑦ つながれ! 八十里越 7月30日、八十里越地点開発促進期成同盟会総会終了後、三条市が新潟・福島豪雨災害を教訓に建設した三条市防災センターを参加議員全員で見学し、改めて豪雨災害に対する対応、対策の大切さを再認識しました。

町長給与20%減

介護施設入札不調の責任



介護施設完成予想イラスト
29床の施設が予定されている

問 予定価格と最低入札額に1億7000万円以上の差があったが、2回目の入札では、予定価格が約2500万円しか増額されていない。それが入札不調をまねき、建設の遅れにつながったのではないか？

答 詳細設計をし直し、今回の補正予算のお願いとなった。南会津会の不手際はあった。この事態をだれも責任を取らずに進めていいのか。補助金を出した町側の責任、事務を執行した南会津会の理事としての責任は重く受け止めなければならない。

問 詳細設計をし直し、今回の補正予算のお願いとなった。南会津会の不手際はあった。この事態をだれも責任を取らずに進めていいのか。補助金を出した町側の責任、事務を執行した南会津会の理事としての責任は重く受け止めなければならない。

答 補助金を出した町側の責任、事務を執行した南会津会の理事としての責任は重く受け止めなければならない。

問 補助金を出した町側の責任、事務を執行した南会津会の理事としての責任は重く受け止めなければならない。

マイマイガ

町民へより手厚い対策を

問 マイマイガの公共施設の対策は理解したが、一般町民への対策が不十分ではないか。

答 今回は、異常発生で産み付けられた卵の除去を優先で予算をお願いした。今後事態の変化を見ながら検討する。

問 この対策に総合的に対処する司令塔となる部署はどこか。

答 予算は、各課ごとに環境整備課がこの対策の所管課となる。

問 今後、学術研究も必要だ。対策本部を作るなど積極姿勢で対策を講じていくべきだ。

答 来年5月まで死骸、卵の除去対策を中心に取り組む。防犯灯・街路灯のLED化にも努めたい。情報の収集に努めて万全な対策をとってきたい。

叶津集落で行われたマイマイガの除去作業



役場新庁舎

役場設計支援委託業務は必要か

問 新庁舎設計支援委託業務550万円について、どのような役割を担う業務委託か。

答 実施設計業者と技術的な相談や提案を町の立場でもらうための委託業務だ。

問 設計業者は、当然町の立場で設計を行う

答 過去にも町が発注するものだ。新たに業務を委託してまで行う必要があるのか。

答 過去にも町が発注する大きな建設事業は、町の技術者を専従にお願いしてきたが、現在の職員の配置状況から、技術者が足りず、今回外部委託で対応したい。



建設予定地で進められている宮前遺跡発掘調査

委 員 会 リ ポ ー ト

■ 総務厚生常任委員会

只見ユネスコエコパーク

スピード感ある取り組みを

只見町の将来の最重要
振興対策との位置付けで、
スピード感を持って取り
組まないと賞味期限とな

る可能性があります。タ
イムスケジュールを早急
に作成し、町と議会双方
の共通認識として捉える

ことが必要です。誰にで
も解かりやすく動きが見
える取り組みを望みます。



只見町ツナセンターで開催された只見ユネスコエコパークを
紹介する企画展のポスター



只見町公認自然ガイド研修の様子

ユネスコエコパークを
起爆剤とした
観光振興策の青写真が
早く欲しいなあ……

■ 経済文教常任委員会

災害仮設住宅

旅行村での活用は再検討を

ユネスコエコパークの
登録を受け、今後、教
育・環境旅行など、子ど
もの受け入れに力を入れ
ていくために、豪雨災害
後建設された仮設住宅の
再利用について、青少年
旅行村への移設が検討さ
れてきました。

3度の委員会で審議が
なされました。

行われましたが、既存の
バンガローが老朽化し、
今後の施設整備の必要性
は理解できることから継
続して調査することとし
ました。

なお、9月会議におい
て、これに係る地質調査
設計委託料が減額修正さ
れました。



診療所の今後の 経営のあり方を考える

〔日時〕平成26年7月9日～11日

「公益社団法人地域医療振興協会」

地域医療振興協会の運営状況とへき地医療への取り組みについて学び、朝日診療所の今後の運営

あり方を検討するための意見交換を行いました。

↓医師の恒久的確保のため、職場環境・待遇の改善、診療スタッフと行政の信頼関係確立を目指す。

只見町に適した診療所運営のあり方を、様々な運営体制を検討しながら、二度と医師不在の町にしない取り組みをしていく決意です。

「東京臨海広域防災公園」

防災拠点施設のあり方と災害時の対応について学びました。

↓災害時の情報の管理・集約の重要性、安心・安全な地域づくりのための情報の共有化、住民への



防災オペレーションルームの視察

リアルタイムでの情報発信・提供ができる体制づくりの必要性を実感。

ほかに、全国町村会「ダム・発電関係市町村全国協議会」におもむき、市町村の財源確保対策等について、意見交換を行いました。

一人でも多くの人に

読んでもらいたい

〔日時〕平成26年7月22日～24日

〔視察場所〕新潟県聖籠町議会、岩手県金ケ崎町議会、宮城県大和町議会、山形県川西町議会

〔目的〕一人でも多くの方に読んで頂けるような、町民目線のわかりやすい議会広報誌作りのために、

平成25年度議会広報全国コンクールで最優秀賞・優秀賞を受賞した4つの町議会を訪問し、情報交換すること。

〔内容〕4町議会の広報紙で共通しているのは、一見して内容を把握できる見出しのこだわり方、町民を上手に巻き込んでの誌面作り、簡潔かつ要点的につかめる文章、写真やイラストの多用や見や

すいレイアウト、そして何よりも、町民目線での誌面作りへのこだわりが随所に見られることです。視察全般を通して、やはり議会そのものの充実なしに中身のある広報誌は作れないことを実感させられました。

広報紙の編集に携わることで議会活動を反芻する機会が与えられ、それによって改めて議会について気づくことも多く、議会活動へそのままフィードバックしていける広報委員会にしていきたいです。



宮城県大和町議会

▽只見ユネスコエコパークラッピング車両



只見線への熱い思いを語る

結論を急がないで!

8月18日、JR東日本主催の只見線地元説明会が商工会館で開催されました。議員代表5名（副議長及び各委員会委員長）、町民代表10名がそれぞれ只見線への思いを語りました。

JRにとっては、膨大な復旧工事費用以上に、運行するだけで毎年累積していくばかりの赤字がネックとなっています。「1日の乗客数500人」が、廃線か否かの分岐点です。町と地域の努力次第ではこの数字が無理だとは思いません。町民の意識が変わった今、V字回復を目指して本気になって観光振興を図り、乗客増加に努めていくのです。過去のデータだけで見捨てるのではなく、これからの地域の未来に賭けて欲しいと訴えました。

これまで只見線は当たり前のよう存在してきたため、右肩下がりの乗客数を黙って見過ごしてきたしまいました。しかし、豪雨災害をきっかけに町民の意識は大きく変わりました。今では全町・全沿線地域を上げて乗客数増加への様々な取り組みをしています。

おかげで今年は、乗客数が確実に増加しています。只見はユネスコエコパークに登録され、新庁舎建設、駅前通りの活性化、鉄道博物館構想など、駅前を刷新する事業をこれから次々と打ち出していく予定です。まさに観光振興をこれから積極的

に図っていくこうとしている今、交流人口増加に只見線は欠かせない存在なのです。

JRとしても、ダイヤの改善、会津若松までの所要時間短縮、新幹線との連結改善、首都圏へのより一層のPR等、企業努力をしてほしい旨を伝

えました。先に行われた金山町での住民説明会で、10月中には結論を出す旨の発言がありました。赤字ローカル線を守る国会議員連盟が発足したばかりでもあり、結論を急がないで欲しいことを伝え、閉会としました。

三条市下田

国道289号線八十里越 5年後の暫定供用を目指して

平成26年7月29日、新潟県三条市下田漢学の里「諸橋徹次記念館」において「国道289号線八十里越地点開発促進期成同盟会」総会が開催されました。

両県の関係者が、新潟県側の工事箇所4号

橋梁から5、6号トンネルの視察を行い、工事の進捗状況を国土交通省の担当者より説明を受けました。その後、国土交通省北陸地方整備局所長、各県の土木部、関係機関より事業説明がされ、総会の席においては「あと

10年あと10年と言ってきたが、本当に何年待てば供用開始できるのか」といった質問が出され、関係機関の方々も対応に苦慮されていました。

目黒只見町長より、5年後の暫定供用を目指して工事を進めて頂きたいとの要望決議文が読み上げられ、満場一致で賛成し閉会しました。



国道289号線八十里越概要図



⑪ 急げ! 道路開発 8月8日、会津総合開発協議会では、会津縦貫南道路の整備促進（会津若松～南会津町田島）を国土交通省などの関係機関や国会議員に対し、要望活動を行ってきました。

高齢化する集落の見回り強化を

布沢集落の幹線農道舗装と集落見回り機能強化のお願い

審査結果 採 択

（理由）

この陳情は、集落の生活実態を役場にもっと分かってもらうための集落点検の強化、集落農道の舗装整備計画を示してほ

しいという要望です。

各振興センターを中心に集落の総点検を改めて行い、暮らしに密着した事業の検討が今後さらに重要だとの委員会の結論です。

また、布沢集落の農道

は、急傾斜地に点在し、

舗装率も全集落中下位のほうです。要望路線のうち、とくに急こう配で土砂が流れやすい大久保幹線農道、花卉団地につながる川和久幹線農道は、今後継続した舗装整備が必要であるという委員会の結論です。

その他、大田、夕沢などの要望路線も、全集落の実態を把握しながら、集落舗装率の均衡は、今後ある程度図っていく必要があります。

今後、全集落の問題

この陳情の内容は、今後高齢化が一層進む中で、全集落に関わる重要な内容であるため採択すべきと決定しました。その後の本会議で全会一致でこの委員会の報告が採択されました。



6月27日に行った布沢地区の現地調査の様子



布沢地区陳情箇所の現状

手話言語法制定を 求める意見書の提出を 求める請願書

請願者

社団法人福島県聴覚障害者協会会長 吉田正勝
福島県手話サークル連絡協議会会長 佐藤政昭
福島県手話通訳問題研究会会長 清水久美子

審査結果 採 択

（理由）

手話は、音声言語と対等な言語である。意思疎通のための手段として選

択の機会が確保されなければならず、国として法整備の実現が必要と判断した。

労働者保護ルールの改悪反対を 求める意見書提出の陳情 について

請願者

日本労働組合総連合会福島県連合会
南会津地区連合会議長 渡部訓正

審査結果 採 択

（理由）
雇用労働者が安定的な雇用と公正な処遇の下で安心して働くことができ、環境を整備することが、日本経済・社会の持続的成長のため必要なものと判断した。

地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情について
請願者
日本労働組合総連合会福島県連合会
南会津地区連合会議長 渡部訓正

（理由）
社会保障、環境対策など、地方自治体が担う役割は年々拡大しており、安定的かつ地域遍在性の小さい地方税財源を確立することが極めて重要であると判断した。

⑫ 真に必要な道路整備を 8月8日、只見・金山・昭と県道改修促進期成同盟会総会が只見町で開催され、福島県から管内県道の整備計画などの説明を受け、今後の整備促進を要望しました。



ブナリン

教えて! 議会のこと Vol.1



アカシヨウちゃん

委員会ってどんなことしてるの?

只見町キャラクター ©Tadami



イワっぺ

みんなに代わって只見町のキャラクターたちが聞いてくれました。



ブナリン 総務厚生常任委員会ってどんなことをしているの?

大塚委員長 行財政、保健福祉、地域づくり関係など、幅広く町の運営に関することを調査しているんだよ。

ブナリン 少し難しすぎるよ～。もう少し僕たちにもわかるように教えて。

大塚委員長 ごめん、ごめん。もう少しわかりやすくね。町の1年間の予算や財産がちゃんと管理・運営されているか調べたり、みんなが、お腹が痛くなったり、虫歯になったりしたときにお世話になる朝日診療所が、きちんと運営されているかチェックしたり、困っているお年寄りたちを町がちゃんとサポートできる仕組みを整えるように働きかけもするんだ。みんなが少しでも住みよい町になるように、役場の人たちと相談しながら、町が間違っただけをしないか常に見守っているんだよ。あとね、今年6月に登録になった「ユネスコエコパーク」についても、町がちゃんとこれを活かせるように働きかけてもいるよ。そうそう、大切なことがもうひとつ。経済文教委員の人たちと、JR只見線をどうしたら元通りにしてもらえるのかを一生懸命に考えて活動しているよ。



アカシヨウちゃん 経済文教常任委員会は?

目黒委員長 えっとね、町の会社、工場、お店などの商工業、がんばっている農家を応援する事業とか、町の緑がちゃんと管理されているかの調査もするよ。スキー場や湯ら里、キャンプ場などの観光施設がより繁盛して賑わい、町が元気になるために町がちゃんと支援しているか、アイデア

を出しながら町の政策を検証したり。豪雨災害で壊れた林道もきちんと復旧されるように働きかけたり。皆さんの住まいや生活環境、土木工事、冬にみんながお世話になっている除雪作業や上下水道のこともね。あとね、子どもたちがいい教育を受けられるように、小・中学校のことを調べて意見もするし、只見高校が今後も存続できるように一生懸命対策を話し合ったりしているよ。それからね、町民の皆さんから「不便な道路や側溝などを直してください」なんていう、陳情（お願い）もたくさん来るんだ。だから、現地を見に行き、早く対応してもらわないと困るようなところは、急いで対応して欲しいと、皆さんに代わって町にお願いするんだよ。



イワっぺ 議会広報特別委員会は何してるの?

石橋委員長 一番大変なのは、議会だよりを作ることね。何が大変って、大人だけでなく中学生にでもわかりやすい議会だよりにして、みんなが「読みたい!」と思ってくれるような誌面にするためにはどうしたらいいかが一番大変。それからね、年2回、議会でどんなことをやっているのかを町民の皆さんに報告する「議会報告会」を開いていたんだけど、この次からは「一般会議」という、皆さんとの意見交換の場にしたいと考えているのよ。

イワっぺ ねえ、その一般会議って、な～に?

石橋委員長 集落の皆さんや婦人会、若い人たちと議員が自由に話し合える会よ。各地区の振興センターにお願いして、議員の人たちといろんな話し合いをしてみたい集落や団体を募集しようと思っているの。イワっぺも来てね!

9月会議一般質問

10人の議員が登壇



- 質問した議員順に掲載しております。
- 1議員1ページの割り当てとなっているため、ページの都合上、質問・答弁はその概要を掲載しております。

■ 酒井 右一 16

被災町民からの催告書の対応は
朝日診療所の内視鏡検査再開は

■ 大塚 純一郎 17

マイマイガの駆除を
介護予防活動の実態と今後は
「道の駅」の進捗状況は

■ 新 國 秀一 18

水害発生時に協定書はあったのか
町の住宅政策が見えない
災害復興基金の見通しは

■ 小 沼 信 孝 19

ユネスコエコパーク認定をどう活かす
放射性物質測定の実状は

■ 目 黒 仁 也 20

全町の街路灯をLED化へ
町の将来について真剣議論を

■ 鈴 木 征 21

只見線復旧に向けた取り組みは
只見振興センターの規模は
萬代橋の一日も早い復旧を

■ 藤 田 力 22

豪雨災害、時効中断催告の対応は
ふるさと納税で町を活性化すべき

■ 中 野 大 徳 23

町内農産物の支援策は
集会施設の利用促進策は

■ 山 岸 フ ミ 子 24

介護保険法改正による町の政策は
学童保育の検討経過は
子育て新制度による影響は

■ 石 橋 明 日 香 25

景観意識を高める啓発活動が不足
EV充電ステーションの設置を
ネットを活用した医療連携を

酒井 右一 議員



聞いたことに
ちゃんと
答えてけるや

議員の
つぶやき

* 民法153条……催告による時効の中断について規定するもの。

被災町民からの催告書の対応は

町長一通告を分析し相談する

問 報道によると、本年7月、被災町民176名及び5事業所は民法153条*を根拠とする催告書を町長に提出したとされる。事実か。

町長 事実だ。

問 催告書のコピーを議会に配布し、催告の効力と趣旨を説明されたい。

町長 できない。

問 受け取った時、なぜすぐに議会に相談をしなかったのか。

町長 催告の趣旨や全容が分からないからだ。

問 民法153条について事務方から説明を受けた。被災町民が時効を中断させて町長に洪水被害の損害賠償請求を行うというものだ。当時、議会は災害調査報告書をまとめた。町長は被災者から催告を受ける理由があると解釈できる。被災者は法定期限内に損害賠償請求を行うと考えられる。町長は被災町民と争う(戦場であいまみえる)ということか。

町長 それも含め、次の通告を分析しなければ議会に相談しない。



朝日診療所の受付風景

朝日診療所の内視鏡検査再開は

町長——来年当初から再開を予定

問 朝日診療所は現在内視鏡検査による診察・診断を休止しているがなぜか。

町長 検査するための「人や機材」が整わない。医師や職員の再研修の必要もある。来年の当初から再開する予定だ。

問 去年の3月、当時の診療所長はこの事態を予測していた。その時、町長に「地域医療崩壊の危機が来る」と警告していた。

る。また、診療業務を見直せば内視鏡検査を継続できるという内部意見もあったようだ。あれから1年半、町長は事態打開のために何をされたか？ 広報ただみと町ホームページで看護師の募集をした以外にない。努力したと言われるが、最高責任者・只見町長の努力の内容を知りたい。

町長 学校訪問、病院との情報交換会など取り組んできた。

問 診療収入は極端に減り、受診件数も減った。町長から具体的な説明がなければ、検査休止の長期化と診療所の衰退は町長の「不作為」により起きたと考えるしかない。不作為があれば決算を認定できない。

マイマイガの駆除を

町長——効果的な対策に当たる

問 8月会議において、480万2千円の委託料や集落支援策が議決決定された。それらの具体的な実行内容と効果を問う。

町長 ①三集落の盆踊り等で使用する提灯のLED化を行った。②高圧洗浄機等を三地区振興センターに配置し、集落内の卵塊駆除等に活用している。③湯ら里及びむら湯の外壁等について、

高所作業車を使用した卵塊駆除を行っている。

問 来年のマイマイガの発生を可能な限り予防するため、卵塊のうちできるだけ除去する必要がある。今後の対策事業について問う。

町長 降雪前に高所や物陰などの駆除、積雪期を利用した高所の駆除、春の幼虫発生に向けた駆除方法の周知等を行う。



おおつか じゅんいちろう
大塚純一郎 議員

のれん 暖簾に腕押しだ～

議員のつボヤキ



「おたっしや教室」の様子

介護予防活動の実態と今後は 町長——町事業へ参加の促進を図る

問 少子・過疎・高齢化に歯止めがかからない只見町の現状で、待ったなしの高齢者福祉を考えると、現在における活動実態と今後の計画を

向上、栄養改善、認知機能の維持を目的に実施している。他に「おたっしや教室」「いきいきふれあい教室」を実施している。

町長 「ゆう悠くらぶ」をあさひヶ丘において実施している。介護の必要な状態にならないよう、運動機能

問 活動団体、支えあいの会の育成と活動拠点施設の整備が必要ではないか。

町長 各地区集会所を拠点施設として位置づけ、「いきいきサロン事業」等の支援をしていく。

「道の駅」の進捗状況は

町長——基本計画の策定を進めている

問 産業の六次化の集約として道の駅整備は欠かせない事業である。開設までの事業計画、タイムスケジュールを示せ。

告書により基本構想をつくり、平成26年度に基本計画の策定を進めている。

町長 平成25年度に基本構想検討懇談会を組織し、構想策定業務委託成果報

告の策定が完了した。3月会議で質問した「道の駅設立準備室」の設置

はいつ行うのか。

町長 より多くの地域住民が関わり、より多くの観光客が集まる只見型「道の駅」の整備実現に向けて計画的に進めていく。

新 國 秀 一 議 員



水害発生時に協定書はあったのか

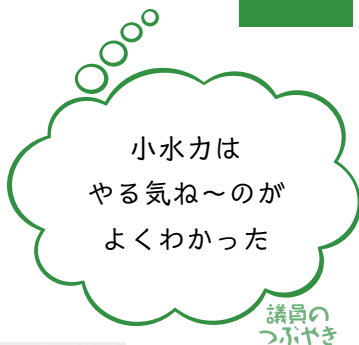
町長一発生当時はなかった

問 ダム放流時の通報並びに住民への周知等に関する協定書は締結したのか？

町長 平成23年7月の災害当時、電源開発（株）と双方で確認した結果、明文化されたものは存在しないという結論に至っていたが、24年6月25日に改めて締結した。

問 本年7月の水害時には協定書に基づいた連絡、住民への通報通知等は十分に実行できたか？

町民生活課長 協定書に



議員のつぶやき

基づき通報・周知等は、問題なくできたのではないかと思います。



只見川沿いに立つ新潟・福島豪雨最高水位柱

町の住宅政策が見えない

町長——民間資本の活用など検討する



建設中の民間アパート

問 町の住宅政策が見えてこないがどうなっているのか？

町長 今後の町の住宅政策としては、町営住宅のストックを効果的に修繕、改修を進め、住居環境の向上を図るとともに老朽化対策を検討していく。また、民間資本を活用し

た住宅の提供等、冬期間の住宅管理に係る克雪対策事業を継続して行う。

災害復興基金の見通しは

町長——期間の延長を県と協議する

問 災害復興基金の現在の推移と今後見通しは？

町長 被災者生活再建支援に175件、3億7300万余を執行。防災無線LAN整備に1億6千万円、スーパープレミアム商品券に1060万、今後はプレミアム

商品券に追加、中小企業等災害復興支援、農業振興事業、レイクビュー改修、只見沢休憩所改修、旅行村整備への基金の活用を考えている。基金の処分は26年度までとなり、処分期間の延長について県と協議して

きたい。

問 基金の使い道は町民が分かるように広報た

だみを使って示していきたい。町職員に小規模水力発電と町職員の超過勤務手当についても質問がありました。



⑰ 南会津の防災力強化を 8月25日、南会津地方広域市町村圏組合議会定例会が開催され、消防職員の定数2名増員、火災予防条例の一部の改正、補正予算が審議されました。

ユネスコエコパーク認定をどう活かす

町長——経済と社会の発展に取り組む

問 町は学術、教育的見地から広めていくとお考えのようだが、町民との考えに開きがあるようだ。今後どのような取り組みをされるのか。

町長 ユネスコエコパークの目的は3つあり、①生物多様性の保全、②持続可能な発展のための学術的研究支援、③経済と社会の発展である。登録になった今後は「経済と

社会の発展」に取り組んでいきたい。
問 「ユネスコエコパーク登録の町・只見」といった標語を作り、町のお土産や商品に使うのは良いのか。

町長 「ユネスコエコパーク認定」といった青い旗を見かけるが、町内に入ってくる国道に「ユネスコエコパーク登録の町・只見」といった看板等を設置するお考えはないのか。

総合政策課長 商工会等からも問い合わせがあったが、商業目的に使うのは基本ダメであるが、その辺のところを今後十分協議していきたい。

総合政策課長 南郷方面からと金山方面からの国道付近に看板を設置していきたい。

問 まだまだ町民のエコパークに対する理解が足りていないのではないかと、

またもう少し気軽に立ち寄れる散策コースが必要なのではないか。
総合政策課長 そこが重要なことなのでしっかりと取り組んでいきたい。今後いくつかのビューポイント等を整備して観光資源にして行く仕組みを作っていく。そうした取り組みが観光振興に繋がるものだと考える。



小沼信孝 議員

まっと
わかりやすく
できねえかや！
議員のつぶやき

放射性物質測定の実状は 町長一町独自で測定している



どこだかわかりますか？

問 山や川の放射性物質検査をして、安心して安全な町をアピールしていくと言われたが、実施されているのか。

農林振興課長 確かに検査結果の公表が遅れたのは事実ですので今後は結果が出次第すぐに公表して行きたい。

町長 昨年度、農地80地点、今年度30地点、山林土壌は昨年度33地点調査したが、結果はいずれも十分低い数値であった。結果もおしらせ版、ホームページ等で周知している。

問 まだまだ安心できる状態でないの、今後も検査等をつけて頂きたい。
町長 ユネスコエコパークとも関連する事なので引き続きやるべき事はやっていきたい。

問 検査公表時期が遅いようだが、農地であれば耕作前にお知らせし安心

目録 黒仁也 議員



全町の街路灯をLED化へ

町長一提案を受け止めて検討

問 エコ社会の推進、マイマイガの予防対策、コスト削減を目的に街路灯整備事業を立ち上げて、全町一体的にLED化を推進すべきだ。

町長 一つのエコ社会を作っていく主体性も今後の議論のひとつ。提案を受け止めて議論させて頂きたい。

問 今の町民の生活課題



LED設置工事(小林集落)の状況

全町一体のLED化は今でしょ！

議員のつぶやき

に対処した事業だ。コスト面では、現在の町の街路灯に要している電気料は年間約4百数十万円と予想するが、LED化で約6割のコストが減る。集落負担は大きく軽減される。

町長 意見を受け止めて検討したい。

問 今年から3か年で始まった行政改革の最大の目標は？

町長 人口減少に対する取り組みと産業振興だ。

問 人口減少、税収見込みなどから今後10年後の町の姿をざっとどのような予想されるか？

町長 人口は引き続き減少の予想。国・地方合わせた借金も1千兆円台になった。国からの地方交付税も今後継続される確たるものはないと見込んでいる。

問 今考えるだけでも庁舎建設他ハード事業に今後、数十億円の財源を要する。10か年先の財政見通しなどから、当局・議会が町の将来について真剣に議論していく必要がある。

町の将来について真剣議論を

町長——同じ認識で議論したい



9月14日に開催された只見地区の敬老会

町長 震災・豪雨によってこの地域社会、また、国の状況も刻々と変わっている。早い時期に現状課題の整理と財政見直しを立て、共通認識を持つて今後どう立ち向かっていくのか議論をさせていただきたい。

問 第三セクターの改革は、効率化だけでなく、生産性上がる前向きな視点も必要だ。とくに湯ら里は、さらなる拠点としての肉付け、宿泊キャンプの検討や高齢者の健康づくりなどにつながる機能追加も今後検討すべきだ。

町長 観光、福祉、教育など町全体を見たトータルな政策の展開が今後必要と考えている。それを求められていることも痛感している。総合的な計画を早く示していきたい。



①9 只見を強くPR 8月29日、全会津地方重点要望事項について政府及び県選出国会議員へ要望活動を行いました。とくに只見町は、JR只見線の早期復旧、原発風評被害対策などを要望しました。

鈴木 木

征 議員



小出一只見間を折り返し運転する只見線

只見線復旧に向けた取り組みは町長——誘客を図る取り組みを進める

問 JR仙台支社から只見町に対し、JR只見線復旧の説明があったと聞きましたが、内容はどのようなものであったか。

町長 JRでは復旧の方針を決めていないとのことであり、これまでの説明と同様である。本町出席者からは、まちづくりに只見線は重要であることを伝えている。

問 説明を受け、町では今後どのように取り組まれるのか。

町長 決して諦めることなく、このピンチをまちづくりのチャンスに変える気概を持って取り組みたい。また只見駅前への誘客を図る仕組みづくりに努めたい。

おらは離陸はするけど
着陸はしない
飛行機だ(苦笑)

議員のつぶやき

只見振興センターの規模は

町長——朝日地区のものと同規模を予定

問 只見振興センターの建築規模は、どの程度に考えているか。

町長 1250㎡程度と考えており、朝日振興センターの1.1倍程度である。

問 建築基準法上、木造では1250㎡が限界なのか。

只見振興センター長 全体の面積については調査していないが、ホールについては、耐火構造を必要としない200㎡以内に抑えたい。

問 只見振興センター建



只見総合開発センターの解体作業

設検討委員会の人数は何人ぐらいか。

只見振興センター長 地域を代表する方等20名で構成されている。

萬代橋の一日も早い復旧を

町長——今年度中には工程を示す

問 6月会議でも質問したが、一番困っているのは地元住民である。町としてスピード感を持って、一日も早い復旧実現に取り組んでいただきたい。

町長 電源開発との協議において、復旧する方向

で確認している。現在、事前確認を行っている段階であり、今しばらく時間をいただきたい。今年度中には具体的スケジュールを示したい。

町長 精一杯、一日も早い復旧に向けて努力すること、ご理解をいただきたい。

問 早い時期に結論を出して、宮瀨地区住民に説

藤田 力 議員



今回の提案は成功したぞ！

議員のつぶやき

豪雨災害、時効中断催告の対応は

町長——催告の原因、明らかでない

問 町は、本年7月に時効中断を目的に町民176人、企業5社から「催告」を郵送された。何が催告の原因と違うか？ 今後、年内にも損害賠償の段階に移ると思うが、町としてどう対応するのかを伺う。

町長 時効の延長を目的として催告書を提出されたものと推測されることであるが、その内容については、今回の書面のみをもって、明確に正確に全容を把握できる状況に至っておらず、催告手続きをされた原因が何であるのかも明らかではない。催告書提出から

6か月以内に、損害賠償手続きも含めた選択肢の中から何らかの行為が行われるものと推測されるが、その行為に応じて内容を精査し、弁護士等専門家の判断を仰ぎながら、慎重かつ適切に対処して参りたい。

ふるさと納税で町を活性化すべき

町長一米を最有力の特産品として検討



まるで只見の「道の駅」
只見駅、観光まちづくり協会売店

問 寄付を基金としないで、ふるさと納税者にお礼として特産品を贈る町村が多く、大きな話題となっている。政府も手続きを簡単に、メリットを大きくすると公表している。町も、長野県の阿南町や本県湯川村のようにお米を特典に地域を活性化しながら明るい話題を発信すべきと考えるがいかがか？

町長 ふるさと納税で地域を活性化する方法については、寄付をされる方の寄付に対する純粋なお気持ちをお大切にしたいと考え、特典の質を競い合うような有り様とは一線を画してきた。しかし、とらえ方によっては、地域活性化の好機と受け止めることができるという理解に至った。従って、今後は積極的に取り組んでいきたい。また、本町のふるさと納税の仕組みは、郵送でのやり取りを原則としているため、時間と手間がかかる。そこで本年、12月よりクレジット決済による「ふるさと納税」が進んでいる。それに合わせて、特産品の検討をして参りたい。とくにお米については、最有力の特産品の候補と考えている。これから関係者と協議して参りたい。貴重な提案として受け止める。



21 逆境を跳ね返せ！ 9月3日、南会津を拓く最重要要望事項を知事、県議会議長、県関係部局に対して要望しました。町村長会及び町村議会議長会で、JR只見線の早期復旧、医療の確保、原発災害対策として、農林業・観光等災害補償などを要請しました。

中野大徳 議員



町内農産物の支援策は 町長一さまざまな施策で支援する

問 町の産物であるゼンマイ、きのこ、米はいまだ原発事故により被害をこうむり続けることが予想されるが、支援策はあるか？

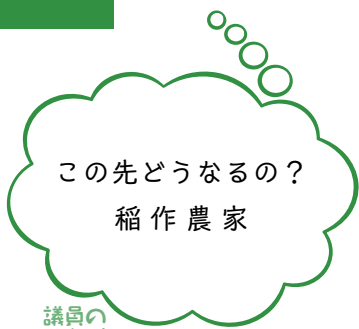
町長 放射性物質に関する風評については、モニタリング検査により、町の産物の安全性を地道に訴え続けることにより対策につながるかと考えている。ホームページ等で正確な情報を提供するなど、情報発信による支援を継続する。野生きのこについては、今年から、品目

ごとの解除が可能となった。できるだけ早く出荷制限解除されるよう、モニタリング調査の体制を整えることが町ができる支援策と考える。

問 米は、戦後最低の買い取り価格（概算金）と



大倉地区の稲刈り風景



議員のつぶやき

なった。稲作農家は将来に不安を感じている。支援策をとらないと基幹産

業がゆるぎかねないと思うが考えはあるか 農林振興課長 米について

では、町の重要な産業と認識している。支援策を模索しているところだ。

集会施設の利用促進策は

町長——利用促進にむけ整備を図る

問 集落の特性を活かした利用促進策を提供すべきと思うが考えは？

町長 32箇所の集会施設があるが、区からの要望を受けて利用しやすいよ



小川集会所で行われている「小川いきいきサロン」

問 集会施設条例によると、建物面積に対する面積要件が狭くないか？ 環境整備課長 検討に値すると考える。

う、改修工事や備品の更新を行うと共に、防災無線LANネットワーク整備により防災拠点としての整備を進めている。今年度から、集落運営支援交付金事業により各集落の施設管理、運営及び行事等の拠点として整備を進めている。行政が集落に出向き健康教室や講座を実施することにより利用促進が図られることから、今後とも住民に身近な講座や教室等を開催し活性化に努めていく。

祝百歳 9月4日、下福井の酒井アサカさんが百歳となり、県知事からの賀寿贈呈式が自宅にて行われました。人と話すことが長寿の秘訣だと話された酒井さんは、耳こそ遠くなっていますが、まだまだ元気。只見町の高齢化率は高まる一方ですが、いつまでも健康で長生きできるまちづくりの充実が必要です。

山岸フミ子 議員



介護保険法改正による町の政策は

町長—サービス低下のないよう検討する

問 来年4月から実施予定の改正は、要支援者の訪問介護・通所介護の削減や打ち切り、入所対象者を要介護3以上に限定し、要介護1、2を排除しようとするもの。このようなサービスの縮小・打ち切りは、在宅生活を困難にし、病状や要介護度の悪化、家族の介護負担の増大をもたらす。市町村の財政負担も重くなる。今後の介護政策の方向性を問う。

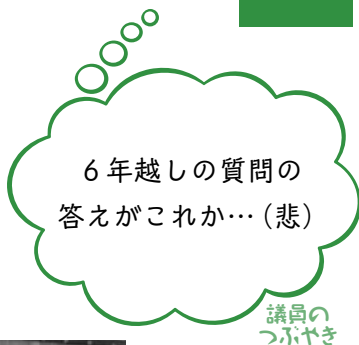
町長 現在利用されているサービス量が低下しないよう検討する。

問 介護の内容充実に伴い介護職員の就労改善が必要だ。南会津会の理事である町長答弁を。

町長 改めなければならぬ。厳しいところもあるが念頭に置く。

問 提案理由で町民福祉向上に積極的に取り組むといわれたが、介護職員の処遇改善・介護の充実を町独自の施策ですべき。

町長 サービス低下にながらぬよう知恵をしばってやって行く。



議員のつぶやき

学童保育の検討経過は

町長—サービスの提供方法を考える



「子育て広場」の様子

問 学童保育の設置を6年前から要望している。その後の検討・経過を問う。

保健福祉課長 有資格の指導員の確保、開所時間、施設等の課題がある。ニ

問 各地の市町村で「地域子ども・子育て支援事業」に学童保育が位置づけられ、全小学生を対象としている。町で行った

子育て支援ニーズ調査では、学童保育の要望が一番多かった。若者定住・少子化・人手不足解消のためにも、早急に設置すべき。学校を開放するのが安心・安全では。

教育長 学校開放は選択肢の一つ。関係者と協議しつつクリアしていきたい。

町長 意見を聞きながらやっていく。必要性は感じてはいる。

子育て新制度による影響は

町長—保育環境の充実に努める

問 来年4月から新制度を実施予定だが、当町の保育所に変化はないか。

町長 保育料の軽減は継続する。

問 どの子どもも平等に

良い保育が受けられるよう、国の基準に合わせるのではなく自治体の責務を全うすべき。保育の充実・拡大が求められている。サービスの低下のない

ようすべきだ。

町長 大切な子どもたちである。子供の環境を守り、保育充実に努めていく。



23 ご苦労様でした 9月15日、只見町敬老会三地区合わせ約600名の参加により盛大に開催されました。保育所児童、婦人会の踊りなどたくさんのおし物が披露され、お年よりも大喜び！ 来年も元気にお会いしましょう。婦人会の皆さん本当にご苦労様でした。

景観意識を高める啓発活動が不足

町長——啓発活動を進め景観を守る

問 景観整備への取り組み意識は。

町長 平成11年に「うつくしい只見町の風景を守り育てる条例」を制定。只見町景観ガイドラインにより全町の景観保全の取り組みを推進してきた。

問 今後の整備方針は？

町長 景観形成は「自然景観」「歴史的景観」「地域景観」「公共施設景観」

の4つの視点で見る。草刈・ゴミ拾い・花植え等での道路・河川の景観保

全も凶る。豊かな大自然と農村風景で育まれた生活の営みによって成された景観を守り続ける。

問 美しい自然景観を人工物で台無しにしてほしくない。自販機・屋根・建材・橋・欄干・ガードレール・看板等、色や素

材で景観を損ねている。町民と事業者への啓発は十分か。

環境整備課長 確かに色の悪いものがある。啓発活動も不十分だ。しっかりとやっていく。

問 平成13年に同条例に伴う基金を積んでいるが活用されていない。今後の活用予定は。

町長 今後の基金のあり方を考え、景観整備を進めていく。



いしはらあすか
石橋明日香 議員

おむつが買えない町でいいのかな!?

議員のつぶやき

EV充電ステーションの設置を町長一年以内に1基設置する

町長——医療機関との連携が難題だ

ネットを活用した医療連携を

問 電気自動車用充電ステーションの整備予定は。

町長 湯ら里に年内に1基設置予定だ。

問 癒しの森・恵みの森の看板、遊歩道整備は。

町長 案内不足を点検の上、景観を配慮した看板設置を検討する。木道整備はしない。

問 飲食店の案内・誘導看板的整備が不十分だ。

町長 商工会や観光まちづくり協会と協議し、必要対応に努める。



EV充電ステーション

問 産婦人科医の配置または助産師の活用は。

町長 産婦人科医の配置は困難。設備不足と異常分娩時の問題で助産師の活用も困難だ。妊娠時や出産後の母子対応は保健師が行っている。

問 1か月に1度の産婦人科医の配置も無理か。

保健福祉課長 課題がた

問 医師が必要な出産は毎年どの程度か？

保健福祉課長 毎年20、30件の出産の内、例年流産1件、帝王切開4、5件程度だ。

問 ネットワークの活用で助産師と医療機関連携し町内検診体制を整えては。

保健福祉課長 医療機関との連携が難しい。

問 保育時間が不足では。

町長 現在、朝7時半から夕方6時までだが、来年度から子ども・子育て新制度により、フルタイムで最長11時間、パートタイムで最長8時間となる。

問 病児保育や休日保育の考えは。

保健福祉課長 ない。

只見町の自然



只見中学校 3年
飯塚 春輝

只見町の好きなところは、自然が豊かなところなんです。つい最近、只見町はユネスコエコパークに登録されました。そのくらい自然が豊かできれいだということです。そして、その自然は春夏秋冬楽しむことができます。春には桜が咲き、夏には川で遊び、秋には紅葉を見て、冬は雪で遊べます。

ただ、川で流されてしまったり、雪が多くて危険もたくさんあります。自然とうまくつきあっていくことが大切だと思います。これからもこの自然を守っていききたいです。

私の好きな只見



只見高等学校 2年
島谷 拓実

私は只見町が好きです。この町にはたくさんの魅力があります。一つはこの壮大で豊かな自然。これには四季それぞれの美しい姿があります。春の桜はもちろん、林床に咲くカタクリや冬を越え力強く咲く雪椿には、只見の春を教えられます。夏に生い茂る猛々しい森林の緑には目を引かれる美しさがあり、秋の山の紅葉はまさに千紫万紅です。冬に広がる視野いっぱいの雪景色には、自然の厳しいこと、それ故の綺麗さが感じられます。

厳しい自然とそれを乗り越える草花、またそれらに囲まれて育った只見町民の皆さんとの何気ない会話や挨拶には、この町を故郷だと感じさせるものがあります。私はこんな家族のような只見町が好きです。

只見町の未来



只見中学校 3年
酒井 香菜子

只見町は、自然が豊かでとっても良いところだと思います。でも、只見町の将来を考えると少し心配なことがあります。それは、人口が少ないことです。そして現在、只見町の人口はほとんど高齢者が占めており、若者の数がとても少ないというのが現状です。このままでは、只見町でも過疎化が進んでいき、近い将来限界集落になってしまう可能性があります。それを阻止するためにも、私たちがこれまで築き上げてきた自然と共生する生き方が只見町を救うことにつながるのかもしれない。

只見町ってなによだや？

只見町の好きなところ



只見高等学校 3年
吉 津 勇

私は生まれてからずっと只見町に住んでいます。只見町に住んでいて嫌なこともあります、好きなこともたくさんあります。

まず、自然が豊かで空気がきれいなので勉強や部活動に打ち込みやすいと思います。私は卓球部に所属していました。この環境で練習して精神面でも身体面でも大きく成長することができたと思います。

只見町は、どんなことにも集中できる環境があるので、とても住みやすいです。

編集後記

広報委員会の研修では、議会だより全国コンクールで何度も賞を受賞している新潟県聖籠町、岩手県金ヶ崎町、宮城県大和町、山形県川西町に行ってきました。どの町も住民目線で、中学生でも理解できるような紙面づくりをされており、紙面の中に多くの町民が登場し、貴重な意見等が多く出され大変親しみやすいものとなっております。

私たちの議会だよりも、今後多くの町民の紙面登場の場面を作っていくたいと考えております。ぜひとも多くの町民の方の参加、ご協力をお願いいたします。(山岸フミ子委員) 発行責任者

議長 齋藤 邦夫

議会広報特別委員会

委員長 石橋明日香

副委員長 小沼信孝

委員 山岸フミ子

委員 大塚純一郎

目黒仁也